



救急車を呼ぶときは「119番」!!



119番通報したら、こんなことを聞かれます。

住 所 (市町村名から)

電話番号

目印になる建物

(近くの公共施設やお店の名前)

- 誰が、どうしたのか (病気、けが、交通事故など)
- (具合が悪い方の) 年齢、性別
- 一緒にいるか? (頼まれて通報しているか?)
- 呼吸は楽にしているか? (普段どおりの呼吸か?)
- 冷や汗をかいていないか?
- 顔色は悪くないか?
- 普通に話ができるか?
- 症状を詳しく など

指令員の案内にしたがってください。



救急車が来るまでに、用意しておく便利なもの。

- 保険証や診察券
- お金
- 靴
- 普段飲んでいる薬 (おくすり手帳)



乳幼児の場合はさらに

- 母子健康手帳
- 紙おむつ
- ほ乳瓶
- タオル





救急車が来たら、こんなことを伝えてください。

- 事故の状況や体調が悪くなってから
救急隊が到着するまでの様子やその変化
- おこなった応急手当の内容
- 具合の悪い方の情報
持病、かかりつけの病院やクリニック、
普段飲んでいる薬、医師の指示など
- 持病、かかりつけの病院やクリニックなどは、
日頃からメモにまとめておくと便利です。

持病は●●●

かかりつけ病院は
▲▲▲病院

普段飲んでいる薬は
■ ■ ■

〈消防庁ホームページから改編し掲載〉

【編集後記】「様々な災害に見舞われたこの一年」

今年ほど様々な災害に見舞われた年も少ないのではないだろうか。冬季の豪雪では、北陸地方を中心に大雪に見舞われ、37年ぶりの大雪となった県もある。地震も6月の大阪府北部地震(最大震度6弱)、9月の北海道胆振東部地震(最大震度7)などがあり、それぞれ大きな被害をもたらした。また、平成30年7月豪雨(西日本豪雨)では1府10県で大雨特別警報が発表され、平成で最悪の水害となった。さらに7月中旬以降全国的に猛暑が続き、観測史上最も高い気温を観測した地点も130地点に上り、熱中症による救急搬送者数も激増した。台風も日本への上陸数が5つと比較的多く、特に台風第21号や第24号では猛烈な風雨や高潮によりライフラインや交通インフラにも甚大な被害が出た。

全国各地で様々な災害に見舞われ、国民の皆さんの災害に対する意識も高まり、自助や共助の大切さが改めて認識された一年ではなかっただろうか。

新しい年は平成最後の年であり、新しい元号の始まる年でもある。災害のない平穏な一年であることを願っている。

地域防災に関する総合情報誌 **地域防災** 2018年12月号 (通巻23号)

- 発行日 平成30年12月15日
- 発行所 一般財団法人日本防火・防災協会
- 編集発行人 西藤 公司
- 〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-9-16 (日本消防会館内)
- TEL 03 (3591) 7123 FAX 03 (3591) 7130
- URL <http://www.n-bouka.or.jp>
- 編集協力 近代消防社